

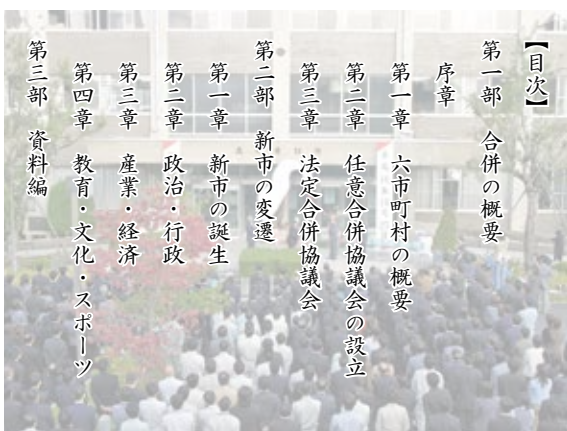


- 販売概要
- 販売場所 文化課（西庁舎4階）
 - 販売価格 2000円（税込み）
 - ページ数 全325ページ

市は、市制20周年を記念し、『恵那市史平成合併編』を作成しました。令和4年10月に、学識経験者や地域の代表者などで構成された市史編さん委員会と、執筆者で構成された専門委員会が発足。昨年から本格的な編さんを開始し、本年10月に完成しました。

合併から現在までの20年間の歴史が地域ごと、分野ごとにまとめられ、市の歴史を振り返ることができます。

恵那市史 平成合併編を販売



※郵送を希望する方は、送付先と連絡先を記入の上、代金を現金書留で文化課宛てに送金ください。市からはゆうパック着払いで郵送しますのご了承ください。

■・問 〒509-7292（住所不要）文化課（西庁舎4階） ☎26-2153

問 観光交流課 ☎26-6830

■販売概要

- 発売日 12月1日（日）
- 販売価格 各店舗による

■えなハヤシとは

ハヤシライスの生みの親・早矢仕有的ゆかりの地と言われる恵那の当地グルメ。次の二つの食材が必ず使われています。

- ◎恵那市特産の寒天
- ◎恵那山麓寒天育ちの三浦豚

店舗によっては、地元の古代米を使った薬膳米のごはんも提供します。



▲大井ダムえなハヤシ（イメージ）

えなハヤシについては、観光協会ウェブサイトで紹介しています▶



提供店舗	一押しポイント
お食事処金よし（大井町）	品の字岩をイメージした唐揚げなど、恵那峡らしさを追及
カフェRob 恵那店（大井町）	たっぷりのタマネギをじっくり煮込み、毎日食べても飽きない味
金寿司（長島町）	ルウに旨味たっぷりの飛騨牛を使用し、三浦豚のカツをトッピング
道恵亭（岩村町）	トッピングにカボチャやナスなど、地域の野菜をふんだんに使用
エスポワール（岩村町）	こだわりの自家製デミグラスソースとブレンドした深みのあるルウ
庵（明智町）	ダムをイメージしたブロックリーとチキンカツをトッピング

大井ダムと恵那峡をイメージしたダム型のご当地グルメ

完成100周年記念 大井ダムえなハヤシ

大井ダム完成100周年を記念して、えなハヤシの会の会員6店舗が、恵那の食材を生かし独自の工夫を凝らした「大井ダムえなハヤシ」を開発しました。各店舗で提供する他、12月開催の大井ダム完成100周年記念イベントにも出店します。

特別市民講座

成島監督が語る制作秘話と演技の世界

52ヘルツのクジラたち上映会

本市で撮影が行われた『銀河鉄道の父』の映画監督・成島出氏が手がけた映画の上演会とトークショーを行います。

原作は、本屋大賞受賞の話題作。『52ヘルツのクジラたち』は、周囲のクジラには聞こえない高周波数で鳴く「世界で最も孤独なクジラ」に由来します。

□とき 12月28日（土）午後1時半～5時

□ところ 恵那文化センター

□料金 無料

□申し込み方法 申し込みフォームか、恵那文化センター、市民会館、各コミセンで直接申し込み。

□申込期限 12月28日（土）午後1時半



▲成島出氏



▲秦秀明氏



©2024「52ヘルツのクジラたち」製作委員会

あらすじ

傷を抱え、東京から海辺の一軒家に移り住んだ貴瑚（杉咲花）は、虐待され、声を出せなくなった「ムシ」と呼ばれる少年と出会う。かつて自分も家族に虐待されてきた貴瑚は、少年を見遇うことができず、一緒に暮らし始める。やがて、夢も未来もなかった少年にたった一つの「願い」が芽生える。願いを叶えたい貴

瑚は、過去に声なきSOSを聞き救ってくれた安吾（志尊淳）の声を聴くためにもう一度立ち上がる―。

成島監督に加え、成島監督作品の演技指導を数多く手がけているアクティングコーチの秦秀明氏が出演します。

トークショー

問 恵那文化センター ☎26-6916

「まなぶ」拠点施設に
新たに整備する資料館

新歴史資料館の 基本方針がまとまる



▲市ウェブサイト
新歴史資料館構想
案のページ

市では、旧岩村振興事務所を「まなぶ」拠点施設とする整備を進めており、2階に岩村歴史資料館を移転します。

令和10年度の開館に向け、歴史資料館整備検討委員会が整備の基本構想を検討しています。同委員会でもまとめた基本方針をお知らせします。

基本方針

新たに整備する歴史資料館は、市全体の歴史資料館と位置づけ、「まなぶ」拠点として、多様な地域遺産を保存継承します。

生涯学習

小中学校の地域学習や、市民の学びを支援

まちづくり

山城や郷土芸能など、地域遺産を生かしたまちづくり活動を支援

歴史観光

岩村城下町や中山道、日本大正村など、歴史観光の入口

構想案や整備の進行状況は、市ウエブサイトで公開しています。

新たな歴史資料館は、①市民の学びやまちづくりの拠点となる施設②観光に訪れた方に歴史文化を紹介できるような施設の二つの視点を大切にしています。

ただ資料を収集保存し、展示・調査研究するだけではなく、多世代へ学びの機会を提供すること、各地域の歴史文化を生かしたまちづくり活動と連携していくことが大切です。

市民に愛され、あってよかったと思える施設を目指し、皆さんと一緒に考えていきたいです。

▲市歴史資料館整備検討委員会委員長
可児光生氏



問 文化課 ☎26-2153